**第13回国立精神・神経医療研究センター神経内科短期臨床研修セミナー申込用紙**

|  |  |
| --- | --- |
| ﾌﾘｶﾞﾅ氏　名 |  |
| 生年月日（年齢） |  西暦 年　　月　　日（ 歳） |
| 住　所 |  |
| 勤 務 先 |  |
| 勤務先住所 |  |
| 勤務先電話番号 |  |
| 連絡先メールアドレス |  |
| 卒業大学/大学卒業年 |  　　　　/ 年3月卒 |
| 1日目センター研究所見学※ご希望に添えない場合があることをご了承ください。 | ①神経変性疾患　　①神経変性疾患　②遺伝子疾患と筋疾患　　③免疫疾患　　④神経画像希望場所の番号を入れてください第1希望　　　　　　　　第2希望　　　　　第3希望　　　　　　　　第4希望　　　　　 |
| 1日目選択実習※ご希望に添えない場合があることをご了承ください。 | ①てんかんと脳波　②神経画像　　③臨床研究希望する実習の番号を入れてください。第1希望　　　　　　　第2希望　　　　　　　第3希望　　　　　 |
| 2日目選択実習※ご希望に添えない場合があることをご了承ください。 | ①嚥下評価　②ボツリヌス毒素治療　③神経筋疾患における呼吸器療法　④パーキンソン病診療希望する実習の番号を入れてください。第1希望　　　　　　　　第2希望　　　　　第3希望　　　　　　　　第4希望　　　　　 |
| 電気生理検査習熟度（グループ振り分けに使います） | 習熟度　　　（A-Gで記載してください）A. 一人で筋電図を実施できるB. 針筋電図を指導医の指導のもと、何度か実施したことがあるC. 反復刺激検査が自分でできるD. 初歩的な神経伝導検査なら自分でできる（伝導速度、CMAP、SNAPを理解している）E. 神経伝導検査の見学はしたことはあり、原理も理解しているが自分一人ではできないF. 神経伝導検査を見学したことがあるが、全く自信がないG. 神経伝導検査を見たこともないので全く自信がない |
| このセミナーをどこで知りましたか | □インターネット　□日本神経学会総会ポスター，チラシ　□知人の紹介□先輩・上司の勧め　□職場のポスター□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ） |
| 来年度以降の勤務先 | * 決まっている　□　未定
* 来年度以降，国立精神・神経医療研究センターでの研修も考えている
 |
| センター内宿泊施設（有料）※数が少なく、確保できない可能性が高いものと思われます。 | * 個室なら希望　□相部屋でもよい　□利用を希望しない
 |

選択実習について

選択実習1日目

① てんかん・脳波：実際の脳波を提示しながら、脳波判読について学ぶ。

② 神経画像：座学形式。様々な神経筋疾患の画像を供覧し、画像診断上の重要な点について講義する。

③ 臨床研究：臨床研究に興味があるが、どのように手を付けたらよいかわからない先生が対象。臨床研究のテーマの設定から研究計画作成までについて講義する。

選択実習2日目

① 初学者のための嚥下機能検査：嚥下機能評価の方法について概説する。嚥下造影検査の実施方法とその評価方法について学ぶ。

② ボツリヌス毒素治療のコツ：患者へのボトックス注射を見学しながら、どのような症状に対し、どこへどれだけ投与すればよいか、具体的な使用法について学習する。

③ 神経筋疾患における人工呼吸器療法：救急現場の人工呼吸器管理は異なる、神経筋疾患患者で長期にわたる人工呼吸器管理について説明する。実際に人工呼吸器のデモ機を用いて、参加者に装着してもらいながら人工呼吸器設定について講義する。

④ パーキンソン病診療手技のイロハ：MDS-UPDRSを基に、診察時に着目すべき点と評価方法について学ぶ。

申し込み・問い合わせ：国立精神・神経医療研究センター病院神経内科　向井洋平　ymukai@ncnp.go.jp